



クミカ

果樹・野菜の害虫防除に

クミアイ アグロスリン®

水和剤

広い
殺虫スペクトラム

優れた速効性

優れた残効性



適用作物・害虫と使用方法

*印は本剤およびシペルメトリンを含む農薬の総使用回数 2022年5月現在の登録内容

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期(収穫前)	総使用回数*	使用方法	
キャベツ	アオムシ、コナガ、アブラムシ類 ヨトウムシ、タマナギンウワバ	1,000~2,000	100~300 ℓ/10a	7日前まで	5回以内	散布	
	アザミウマ類	1,000					
はくさい	アオムシ、コナガ、アブラムシ類 ヨトウムシ、ハスモンヨトウ	1,000~2,000		前日まで			
	アザミウマ類	1,000					
だいこん はつかだいこん	アオムシ、コナガ、アブラムシ類 ヨトウムシ	1,000~2,000		7日前まで			
				3日前まで			
なばな		1,000					3回以内
レタス	アブラムシ類	2,000					5回以内
非結球レタス				2回以内			
ピーマン	アブラムシ類、タバコガ						5回以内
きゅうり なす	オンシツコナジラミ アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1,000	前日まで	5回以内			
トマト	アブラムシ類	1,000~2,000		2回以内			
ミニトマト	オンシツコナジラミ	2,000					
すいか メロン	アブラムシ類	1,000~2,000		4回以内			
たまねぎ	アザミウマ類		7日前まで				
みょうが(花穂)	アブラムシ類	1,000	前日まで	5回以内			
	アザミウマ類 ハスモンヨトウ						
みょうが(莖葉)	アブラムシ類	1,000~2,000	7日前まで	4回以内			
	ヨトウムシ		14日前まで				
かんしょ	ナカジロシタバ、ハスモンヨトウ	1,000	7日前まで	5回以内			
	イモコガ、エビガラスズメ コナジラミ類、ネギアザミウマ ヨトウムシ						
	アブラムシ類				2,000		
かんしょ (莖葉)	ナカジロシタバ、ハスモンヨトウ	1,000~2,000	7日前まで	2回以内			
	イモコガ、エビガラスズメ コナジラミ類、ネギアザミウマ ヨトウムシ、ハムシ類	1,000					
	アブラムシ類	2,000					

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期(収穫前)	総使用回数*	使用方法	
かんきつ	アブラムシ類、カメムシ類 チャノキイロアザミウマ アケビコノハ、ヒメエグリバ	2,000	200~700 ℓ/10a	7日前まで	3回以内	散布	
	りんご	アブラムシ類 ギンモンハモグリガ		1,000~2,000			前日まで
キンモンホソガ シンクイムシ類							
なし	ハマキムシ類 モモチョッキリゾウムシ ヒメシロモンドクガ	1,000					5回以内
	ナシチビガ、アブラゼミ	1,000~2,000		前日まで			
もも	シンクイムシ類、カメムシ類 アブラムシ類、ハマキムシ類			2,000			
	モモハモグリガ、シンクイムシ類 アブラムシ類						
かき	カメムシ類、アカエグリバ アケビコノハ、オオエグリバ ヒメエグリバ	1,000~2,000					5回以内
	カメムシ類、カキノハタムシガ アザミウマ類						
ぶどう	フタテンヒメヨコバイ	1,000~2,000					3回以内
	チャノキイロアザミウマ コガネムシ類	1,000~3,000 2,000	21日前まで				
くり	クリタマバチ	1,000		5回以内			
	クリシギゾウムシ	1,500~3,000	7日前まで				
おうとう	ショウジョウバエ類 オウトウハマダラミバエ	1,000		2回以内			
	アブラムシ類	2,000	3日前まで				
うめ	アブラムシ類	2,000		3回以内			
	シンクイムシ類、カメムシ類	1,000	7日前まで				
ネクタリン	シンクイムシ類、 アブラムシ類、モモハモグリガ	1,000~2,000		2回以内			
	カメムシ類	2,000	前日まで				
くるみ	アメリカシロヒトリ	1,000~2,000		3回以内			
	チャノコカクモンハマキ チャノホソガ、チャハマキ	1,000					
茶	ヨモギエダシヤク チャノドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ	1,000~2,000	200~400 ℓ/10a	摘採14日前まで	1回		

上手な使い方

害虫の発生初期をねらいます。

優れた残効性を活かして、害虫の発生初期や害虫の密度が高まる前、従来よりやや早いタイミングで散布してください。

数種の害虫の併殺をねらいます。

広い殺虫スペクトラムを活かして、同時に発生する数種の害虫の併殺をねらいます。

ていねいに散布します。

害虫は薬剤のかかりにくい葉裏にも生息します。散布に当っては、かけ残りのないようていねいに行ってください。

他剤とのローテーション散布を行います。

感受性低下害虫の出現を防ぐため、ピレスロイド系薬剤の連続使用は避け、作用性の異なる殺虫剤を組み入れたローテーション散布を心がけてください。

使用上の注意事項(抜粋)



- ボルドー液と混用する場合は使用直前に混合してください。
- くりのフリタマバチには羽化脱出期、クリシギゾウムシには果実前にそれぞれ使用してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意してください。

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には、直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。散布液を吸い込んだり、浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに洗眼してください。
- 本剤はのど、鼻、皮膚などを刺激する場合、またかゆみを生じる場合があるので注意してください。

- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。①ミツバチの巣箱及びその周辺にかけないよう注意してください。②受粉促進を目的としてミツバチ等を飼育中の施設や果樹園等では使用をさけてください。③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 畜に長期毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、糞に付着するおそれのある場所では使用しないでください。

- 水産動物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。